

2020年10月16日

各 位

株式会社 宮崎銀行

環境省との「国立公園オフィシャルパートナーシップ」締結について

株式会社宮崎銀行(頭取 杉田 浩二)は、2020年10月15日(木)に、環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。
当行は、引き続き地域の持続可能な発展に向け、積極的に貢献してまいります。

記

1. 概要

「国立公園オフィシャルパートナーシップ」とは、環境省による「国立公園満喫プロジェクト」推進の一環として策定された「国立公園オフィシャルパートナーシッププログラム」に基づくものです。

本パートナーシップは、環境省と企業が相互に協力し、国立公園の美しい景観と国立公園に滞在する魅力を世界に向けて発信し、国立公園の所在する地域の活性化につなげることを目的としています。

2. 締結日

2020年10月15日(木)

3. 当行の主な取り組み内容

- (1) 宮崎県エリアに位置する「霧島錦江湾国立公園」、宮崎県エリアに隣接する「阿蘇くじゅう国立公園」の魅力向上および誘客支援。
- (2) 当行のホームページや広報媒体での魅力発信。
- (3) 霧島錦江湾国立公園周辺でのコンテナホテルやグランピング、廃校活用等による施設整備の支援。
- (4) 霧島錦江湾国立公園内でのアクティビティイベントの開催支援および体験型・滞在型プログラムの整備支援。
- (5) 霧島錦江湾国立公園内での植樹事業の実施による環境保全活動の推進。



【締結式の様子】(2020年10月15日)

4. その他

本取り組みは、環境省九州地方環境事務所、肥後銀行、大分銀行、鹿児島銀行と締結した「中・南九州の地域循環共生圏に関する連携協定」に関連した取り組みの一つです。

国立公園満喫プロジェクトについて

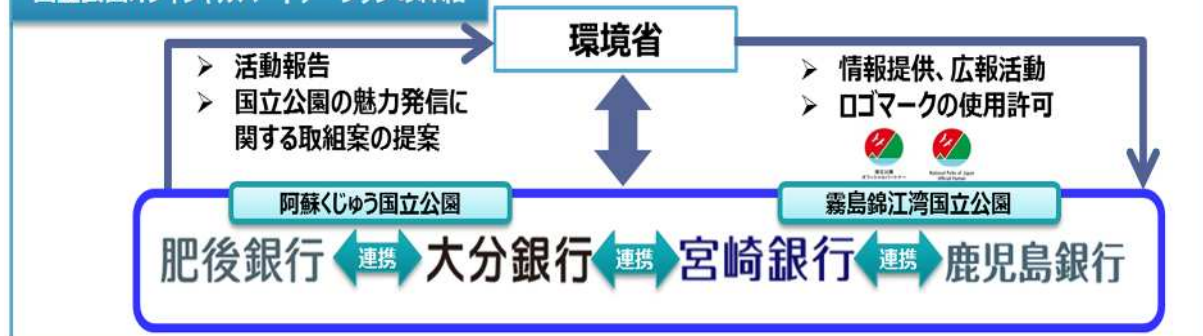
国立公園の保護と利用の好循環により、優れた自然を守り地域活性化を図る

- ◆ インバウンド対策を通じて、国立公園の魅力を再発見・再構築
- ◆ 外国人のみならず日本人も国立公園の魅力を満喫
- ◆ 地域に経済効果をもたらし、自然環境の保全に再投資

国立公園を核とした
地域循環共生圏の実現

国立公園8カ所（全国32カ所）を選定し、訪日外国人を惹きつける取り組み等を計画的、集中的に実施

国立公園オフィシャルパートナーシップの締結



国立公園満喫プロジェクト

2016年3月30日に政府が定めた「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、日本の国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化を図ることを目標に、8カ所の国立公園において訪日外国人を惹きつける取り組みを2020年まで先行的集中的に実施するプロジェクト。

国立公園オフィシャルパートナーシップ

環境省と民間企業・団体が相互に協力し、日本が世界に誇る国立公園の美しい景観と、国立公園に滞在する魅力を世界に向けて発信し、国内外からの国立公園利用者の拡大を図ることで、国内外の人々に自然環境保全への理解を深めるとともに、国立公園の所在する地域の活性化につなげることを目的とした協定。

以上

対応する SDGs



本件に関するお問い合わせ先
株式会社宮崎銀行 経営企画部
担当: 船木
TEL: 0985-32-8213